

次号予告

特集 企業事例

鉄鋼とOR	中川 義之, 他 (住友金属工業)
素材メーカーにおける生産計画問題への取り組み	谷 茂 (東レ)
給油施設操業スケジューリング	阿瀬 始 (日本鋼管)
石油タンクローリーの出荷ステージ設計	田辺 孝夫 (ジャパンエナジー)
LPGボンベの効率的な配送方法について	笹山 晋一, 他 (東京ガス)

編集後記

●今回の特集は地理情報システム (GIS) である。以前は高価なシステムであったため、導入事例は限られていたようであるが、最近ではシステム価格が1桁安くなり、企業で積極的に導入されつつあるようである。昨年の40周年記念号「特集 ORの適用事例」でもGISがマーケティングなど、いくつかの分野で積極的に利用され始めていることが記されている。企業への導入のポイントは、地図にどのようなレイヤを設けて情報を載せ、いかに活用するかがポイントのようである。

●我々の生活の周りでGISの応用といえば、カーナビゲーションがなじみ深い。人間工学の分野では、道路の3次元表示と認知の関係が話題になっているようである。また、子供に持たせたPHSの位置情報をも

とに、子供の所在を地図上に示しFaxで知らせるサービスが開始されるという。カーナビでは、渋滞情報を表示する機能を持ったものが発売されているが、今後は本特集にあるように、工事情報など種々の情報が付加され、良いユーザインタフェースを備えた高機能をもつ製品が開発されるのが楽しみである。カーナビに限らずGISを応用した様々なサービスが開始され、生活のいろいろな場面に利用されることだろう。

●企業のGISの応用事例として、トラック配送の最適ルートの表示がグラフィカルに行われ、運送業以外のより広範な企業で手軽に活用できるようになれば、個別企業のコスト削減効果だけではなく、エネルギー消費量や排気ガスの削減も実現されるであろう。オペレーションズ・リサーチの貢献が地球規模へと拡大する時代が訪れたようである。(葛山康典)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(政策研究大学院大学) 副委員長 田口 東(中央大学)

委員 葛山康典(早稲田大学), 栗田治(慶応義塾大学), 笹山晋一(東京ガス㈱), 猿渡康文(筑波大学), 椎名孝之(財団法人電力中央研究所), 繁野麻衣子(筑波大学), 清水康司(青山学院大学), 外嶋成留(住友金属工業㈱), 田中宏和(神奈川工科大学), 田村明久(電気通信大学), 原 裕淳(㈱東芝), 宮崎知明(富士通㈱), 山下英明(東北大学), 吉野秀明(日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成10年10月号 第43巻 第10号 通巻454号

代表者 水野 幸男

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 大山 達雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体924円) 年間予約購読料11,040円 (税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337), 日経弘報社 (3563-2241) へ